

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

■2面 女性ニュース／国会スポーツ
■3面 読者のページ／まいなが／乱楽パズル
■4～5面 インボイス制度は中止に／女性働く／ホットライン
■6面 食事情／子育て相談／時事・入管法改悪案は廃案に
■7面 新婦人活動／主張／母の歴史



和歌山市 上美子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

改憲NO!

あらたな戦前にさせない！ 5.3 憲法大集会

プラカードを掲げてコール (東京・有明防災公園) 5月3日



憲法施行から76年の5月3日、大軍拡と改憲、戦争国家への暴走は許さないと、全国で集会やデモがおこなわれました。東京・有明防災公園での「あらたな戦前にさせない! 守ろう平和といのちとくらし」を掲げた2023憲法大集会には2万5000人が参加し、4野党(立民、共産、れいわ、社民)代表もあいさつ。ミニステージとメインステージの集会後、パレードをしました。市民や学者のみなさんのスピーチ(要旨)を紹介します。

(文責編集部)

つながり広げ、

「小さな幸せ」支える尊厳を

室蘭工業大学教授・憲法学 清末 愛砂さん



「あらたな戦前」という言葉は「生きる」という営みと対局にあるものです。「生きる」とは、将来に向けた希望と自分が一つの人格を持つ人間であることを実感させ、それを支える尊厳が備わっているということです。それを教えてくれたの

がパレスチナ、特に軍事攻撃にさらされているガザの人びと、そして抑圧に對してたたかう道を選んだアフガニスタンの女性たちでした。彼らが求めているのは持続可能な「小さな幸せ」です。食べて生きるだけの仕事を手に入れること、明日の食事を心配することなく今日の食事をとれること、子どもたちが安心して夢を思い描くことができる衣食住が整っていること、安心して医療や福祉にアクセスできること、その願いを当たり前のように受け入れられ、社会から排除されないこと、こうした「小さな幸せ」を支えているのが尊厳です。

「あらたな戦前」というのは「小さな幸せ」を支える尊厳を否定する流れです。この流れを止めることが、私たちがめざすことのひとつなのです。私は職場の労働組合委員長として、非常勤職員の時間給アップにとりくんでいます。物価上昇で厳しい生活を強いられています。極寒の冬期に燃料の高騰でストーブの使用を減らそうすることが、どれほどまでに惨めであるか。これをあざ笑うかのように、安保3文書のもと、5年間で43兆円の防衛費の財源確保を優先する政治は愚劣で、立憲主義の一つである公平な分配を否定しています。

と称して軍力で相手を服従させることにつながりかねない。これはDV(ドメスティックバイオレンス)やハラスメントの本質である、権力関係を利用した支配欲と似ています。他者が支配して力を誇示する者が闊歩する社会は、「小さな幸せ」を支える根源を踏みしめる社会です。

「敵地攻撃」の安保3文書の具体化を止めよう

日本体育大学教授・憲法学 清水 雅彦さん

政府は「自衛隊は合憲」と説明するために、憲法9条で禁止された「戦力」ではなく「実力」だと言ってきました。国民の声を受けた国会での野党の追及によって、海外派兵禁止、専守防衛、



武器輸出禁止三原則、集団的自衛権行使の否認、軍事費のGDP(国内総生産)比1%枠という、9条にもとづく制約をつくってきました。これがあつたから、日本の自衛隊は「戦力」ではない「実力」だと言えたのです。が、この間の自民党政権によって、こういう制約が形骸化、あるいは変えられてきました。

いわゆる「敵地攻撃論」の問題点は、政府は相手国の攻撃の着手があつた段階で自衛権を行使できると言っており、着手の判断を間違えたら先制攻撃になり、憲法だけではなく国際法にも違反します。

認めれば海外派兵禁止にも反し、軍事費をGDP比2%以上にすれば世界第3位の軍事費となり、自衛隊は「戦力」ではなく「実力」だとはとても言えません。いよいよ9条との矛盾がはっきりしますから、改憲派は9条を変えようと、憲法審査会で議論をすすめています。改憲をさせないためにも、まさに今国会で議論されている安保3文書の具体化を、運動を盛り上げてつぶしていかなければなりません。

